

1年生(71回生)岡山県愛の血液助け合い運動に参加しました

7月は「岡山県愛の血液助け合い運動」月間です。夏場は輸血用血液製剤が不足しがちなため、県民に献血への理解と協力をお願いしています。7月1日(月)にスターティングセレモニーが岡山県赤十字血液センターで開催され、1年生(71回生)が参加しました。学生の代表4名が、献血キャラバン隊の隊長、副隊長として活動をしました。



献血キャラバン隊は県内の高校・大学等を訪問しました

献血キャラバン隊はセレモニーの後、2班に分かれて岡山県献血推進協議会長のメッセージや献血啓発用資材を県内の高校・大学・専門学校に届け、献血への協力を呼びかけました。



私はキャラバン隊として訪問し、改めて献血の必要性和重要性を知りました。特に若者の協力と400ml 献血・成分献血が不足していることを伝えました。

A子



各校を訪問するにつれて、一人でも多くの人に献血に協力してほしいという思いが強くなっていきました。貴重な体験ができました。

B子



血液センターの見学、血液事業についての講義を聞き、 献血推進についてみんなで考えました

私は今回初めて献血をしました。「献血は痛そう!」とマイナスのイメージをもっている人が多いと思いますが、私もそうでした。しかし、血液を必要としている人の痛みや苦しみに比べると大したことではないと考えるようになりました。また次も行きたいです。

C子

献血によって助かった方のお話をDVDで聞きました。私たちの血液で救える命があるということ、誰かの力になれるということを実感しました。献血への協力を友達や若い人に呼びかけていきたいです。

E子



血液センターでは、献血だけでなく血液の保管、管理、発送、献血事業の周知など多くの業務が行われていました。どの業務が欠けても継続して血液を届けることができます。学生の私にできることをしていきたいと思いました。

D子

今まで献血をしたことはありますが、今回血液センターの見学と講義で初めて知ること多かったです。献血について正しい知識を学習し、献血の重要性を家族や友人に説明していきたいです。身近な所から献血の輪を広めていきたいです。

F男